

脱炭素先行地域の進捗状況について

■小水力発電所整備事業・木質バイオマス熱電併給設備整備事業

令和8年度 進捗状況表（資料1別紙）

- ・銚子谷小水力発電所を野麦真谷小水力発電所へ入替

■電力切替による再エネ電力供給

飛騨高山電力（株）の電力契約実績（令和8年7月31日現在）

- ・契約件数 41件（85契約）
- ・契約電力量 2,250,000kWh／年

令和8年 7月 1日～ 新穂高ロープウェイのゼロカーボン運行開始（共同プレスリリース）

令和8年 7月18日～ ほおのき平スキー場のリフト3基のうち2基 再エネ電力切替開始
（3基のうち1基は、令和7年度切替済のため、3基切替完了）

■普及啓発

飛騨高山・脱炭素セミナー開催（動画、チラシ、冊子「デカボのみらい」活用）

- ・令和8年 8月 2日 親子発電所（小水力・木質バイオマス）見学&講座（20名参加）
- ・令和8年 8月23日 木質バイオマス施設見学、ワークショップ
- ・令和8年 9月20日 初級編 小水力発電・木質バイオマス施設見学、セミナー

再エネ自給率見える化サービス

- ・システム管理、コンサルティング業務

岐阜県議会農山村振興・環境保全対策特別委員会（動画、チラシ活用）

- ・令和8年 7月 8日 脱炭素先行地域の取組報告

出前講座開催（動画、チラシ、冊子「デカボのみらい」活用）

- ・令和8年 9月24日 朝日小学校（座学）
- ・令和8年10月22日 朝日中学校（座学）
- ・令和8年10月26日 朝日中学校（現地：阿多野郷小水力発電所見学）
- ・令和8年11月18日 中山中学校（座学）

木質バイオマス利用ボイラーの導入に関する研修会（岐阜県林政部森林経営課主催）

- ・令和8年11月 6日 飛騨県事務所（座学：高山市の取組説明ほか）
（株）井上工務店（現地：木質バイオマス熱電併給設備見学）

小水力発電所整備事業

発電所名称	地区名	種別	R6	R7	R8	R9	R10	R11	摘 要
			2024	2025	2026	2027	2028	2029	
二又川	朝日町 青屋	実施済	← 測量・設計 →						許認可協議中 水車調達・ 工事実施準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
濁 川	高根町 野麦	実施済	← 測量・設計 →						許認可協議中 水車調達・ 工事実施準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
日和田川	高根町 日和田	実施中		← 測量・設計 →					許認可協議中 水車調達 準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
一色川	荘川町 一色	実施中		← 測量・設計 →					許認可協議中 水車調達 準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
大坊本谷	久々野町 小坊	実施済		← 測量・設計 →					許認可協議中 水車調達・ 工事実施準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
阿多粕上流	久々野町 渚	実施中	← 測量・設計 →	← 水車調達 →					工事実施準備中
		予定		← 工事実施 →					
水屋ヶ谷	高根町 日和田	実施中	← 測量・設計 →	← 水車調達 →					工事実施準備中
		予定		← 工事実施 →					
黍生川	高根町 黍生	実施中	← 測量・設計 →	← 水車調達 →					工事実施準備中
		予定		← 工事実施 →					
宮 川	一之宮町 位山	実施中			← 測量・設計 →				測量実施中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				
野麦真谷	高根町 野麦	実施中			← 測量・設計 →				銚子谷から入替 許認可協議中 水車調達 準備中
		予定			← 水車調達・工事実施 →				

発電所名称	地区名	種別	R6	R7	R8	R9	R10	R11	摘 要
			2024	2025	2026	2027	2028	2029	
木質バイオマス 【ボイラー・乾燥設備】	江名子町	実施済	 ボイラー購入・搬入・組立・試運転						
			 電気工事						
			 配管設備工事						
			 工事監理						



このリリースは、高山市内報道関係各社・東海交通研究会・環境省記者クラブ・環境記者会・中部経済産業記者会へ同時提供しています。

2026年6月22日

奥飛観光開発株式会社
名古屋鉄道株式会社
飛騨高山電力株式会社
環境省中部地方環境事務所
高 山 市

新穂高ロープウェイのゼロカーボン運行を開始します

名古屋鉄道グループの奥飛観光開発株式会社（本社：岐阜県高山市、代表取締役社長：川瀬 裕之、以下 奥飛観光開発）が中部山岳国立公園内で運営する新穂高ロープウェイは、2026年7月から、高山市内の新電力会社である飛騨高山電力株式会社を通じ、地元の小水力・木質バイオマス発電による電力の供給を受けて、ロープウェイのゼロカーボン運行、ならびに駅や飲食・物販店舗等の付帯施設の運営を開始します。これにより、新穂高ロープウェイの運行電力は、全てが地域の自然エネルギー由来のグリーン電力となります。

国立公園内に整備されたロープウェイのゼロカーボン運行は、全国でも有数の先進的な試みとなります。今回の取り組みは、高山市が環境省より選定され、奥飛観光開発および名古屋鉄道が共同提案者として参画する「脱炭素先行地域」に関する取り組みの一環として実施するものであり、今後も地域と共に、地球環境に配慮した持続可能な観光地づくりを進めてまいります。

なお、本件は、名鉄グループ中期経営計画（2024~2026年度）で掲げるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一環としても位置づけています。

【ゼロカーボン運行の概要】

（１）開始日

2026年7月1日

（２）電力購入先

飛騨高山電力株式会社

（３）CO2削減量

年間約575トン（2025年実績）

【参考】脱炭素先行地域について

【脱炭素先行地域について】

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域である。

これまでに、環境省において、全国45道府県133市町村の102提案が選定されている。

【高山市（岐阜県内で唯一の脱炭素先行地域）の取り組み】

新規小水力発電所10か所及び木質バイオマス熱電併給設備3か所を整備することで発電される電力に加え、既存の小水力発電所5か所の電力を新電力会社である飛騨高山電力株式会社が買い取り市内23エリアに供給する。

小水力発電所の整備に先立ち、発電事業者が地元住民の意向を確認したうえで、合意・維持管理・共同出資・役員就任の4つの手法を提示し、合意形成を図りながら協働で小水力発電所を整備する。（飛騨高山モデル）

【新穂高ロープウェイのゼロカーボン運行に関するお問い合わせ】

奥飛観光開発株式会社 小澤 TEL 0577-33-0517

【再エネ電力への切替に関するお問い合わせ】

飛騨高山電力株式会社 森本 TEL 0577-77-9445

【脱炭素先行地域・高山市の取り組みに関するお問い合わせ】

高山市環境政策課 中澤 TEL 0577-35-3533

以 上